

共通科目(基盤・教養) 環境と人間

まちづくり入門

ガイダンス

令和8年4月10日(金)

公益社団法人茨城県測量・建設コンサルタント協会

三上靖彦

実務経験のある講師による授業科目

この授業「まちづくり入門」は、実務経験のある教員による授業科目である。

公益社団法人 茨城県測量・建設コンサルタント協会とGLEC(茨城大学地域・地球環境共創機構)との連携協定に基づき、茨城大学工学部教員と実務者である建設関連技術者が連携して開講している授業である。

まちづくりの現場から、最新かつリアルな情報をお届けする。

講義内容

1. 授業の概要
2. キーワード
3. 到達目標
4. 授業概要とスケジュール、担当講師
5. 毎回の授業内容
6. 授業の進め方
7. 成績の評価方法
8. その他

授業の概要

主に公共事業として進められるインフラ整備に係わるまちづくりは、私たちの暮らしや経済活動に直結する分野で、行政や特定の専門技術者だけの仕事ではない。一般市民をも含めた官民が連携しながら、都市や地域社会の安心・安全に繋がる未来を考え、それを具体的な形にしてゆくものである。

この授業では、様々な分野に係わる専門技術者の役割と取組について、具体的な事例を通して学び、社会を支える基盤技術への関心を高めるとともに、その奥深さに触れる。

一市民としてその自由な発想と行動力が活かせるように、または専門技術者への第一歩が踏み出せるように、まちづくりに関する基礎知識を習得するための入門講座である。

キーワード

まちづくり
インフラ整備
企画・計画
設計
測量・調査
維持管理
官民連携

到達目標

私たちの日常の暮らしや経済活動を支える道路や公園, 下水道, 河川などの社会インフラが, どのように調査・企画・計画・設計され, 維持管理されているのか.

そして, 街そのものがどのようにして形成されるのか.

まちづくりという大きな観点で, その全体像を理解, イメージする.

授業概要とスケジュール、担当講師

4月10日(金)

①ガイダンス/まちづくりの全体像 (三上、安藤、平田、海野)

4月17日(金)

②ランドデザインを考える/都市計画など (三上)

4月24日(金)

③道路や公園の作り方/3次元設計など (廣原、石川)

5月8日(金)

④上下水道や河川の作り方/災害復旧 (佐藤、小貫)

5月15日(金)

⑤様々な調査手法/測量・地質など (増子、諸井)

5月22日(金)

⑥補償調査・インフラ維持管理 (飯島、若林、藤田)

5月29日(金)

⑦GIS/企画から施工まで/質疑応答 (猿田、全講師)

授業内容①ガイダンス/まちづくりの全体像

授業内容

ガイダンスと

まちづくりの流れや全体像, その中で技術者の役割について学習する.

担当講師

公益社団法人茨城県測量・建設コンサルタント協会

三上靖彦 安藤昭弘

茨城大学工学部

平田輝満 海野遥香

授業内容②グランドデザインを考える

授業内容

まちづくりの最上流部の企画や計画と、
具体化のための法制度, 各種事業, 官民連携,
などについて学習する。

(都市計画, 市街地開発事業, 企画・計画)

担当講師

公益社団法人茨城県測量・建設コンサルタント協会
三上靖彦

授業内容③道路や公園の作り方

授業内容

日常的に使用する道路や公園が、
どのように計画され、設計されるか。
その具体的な手法の概要について、
3D設計を含め、学習する。

担当講師

公益社団法人茨城県測量・建設コンサルタント協会
廣原健一 石川歩美

授業内容④上下水道や河川の作り方

授業内容

上水道や下水道の概要と計画や設計手法について、その概要を学習する。

災害に強いまちの基本である河川管理について、その計画と設計の概要を学習する。

(災害復旧を含む)

担当講師

公益社団法人茨城県測量・建設コンサルタント協会

佐藤孝平 小貫勝己

授業内容⑤様々な調査手法/測量・地質・その他

授業内容

まちづくりの企画・計画・設計のために必要となる各種調査(測量・地質調査、など)について、ドローンを含めた最新技術を交えながら学習する。

担当講師

公益社団法人茨城県測量・建設コンサルタント協会

増子智彦 諸井敏男

授業内容⑥補償調査/インフラの維持管理

授業内容

公共事業に欠かせない補償調査に加え、
道路や橋梁などの維持管理のための点検調査、
老朽化対策、長寿命化について、
近年の道路陥没事故なども踏まえながら学習する。

担当講師

公益社団法人茨城県測量・建設コンサルタント協会

飯島俊彦 若林淳

茨城大学工学部

藤田昌史

授業内容⑦GIS/企画から施工まで/質疑応答

授業内容

GISの作り方

全体の振り返りとこれからのまちづくり

担当講師が項目毎に授業内容をまとめた話をする。

毎回の授業の質問に回答, 質疑応答。

担当講師

猿田勝則 他(全講師)

授業の進め方

出席: Campus Square 出席

授業資料の公開とレポート出題・提出: manaba

授業の進め方

①事前に各回の授業用資料で予習. 課題を確認.

②授業冒頭でCSの出席暗号(日替わりの数字)
を連絡し出席を取る.

③授業開始

↓ 105分

授業終了

④次授業の準備 → ①へ

成績の評価方法

(1) 毎回の授業で小レポートを課す(manabaにて)

(2点×7回=28点)

①学んだこと

②授業内容に対する質問

(2) 最終回に大レポートを課す(A4で2-3枚程度)

(72点)

授業内容のうち代表的な5課題を対象とした課題。
実際に水戸の街に行ってレポートを書くこと。

評価方法の補足

- ①ペアの授業担当に, 2日前までに授業資料とレポート課題を送る(.ppt)→学生の予習のため
- ②毎回の授業で小レポート(2点×7回=28点).
 - ①学んだこと
 - ②授業内容に対する質問0点(未提出or全然ダメ内容)
1点(①②のうち1つが欠けているなど)
2点(要件を満たしていれば)
のラフな採点で毎回の努力を確認する.
- ③最後に大レポート(A4で2-3枚程度)(72点)
授業内容のうち代表的な5課題を対象とした課題
(AI対策として「水戸の街に行って書け」)

その他
